

本当に若者は「マイホームの購入」に興味がないのだろうか！？  
 世代別「マイホーム購入意欲」調査！  
 ～20代の6割以上が「マイホームが欲しい」と回答～

「若者のクルマ離れが進んでいる」。「必要性を感じない」、「金銭的負担が大きい」からだと言う。では、クルマ以上に人生の大きな買い物である「住宅」においては、「マイホーム離れ」は起きているのだろうか。

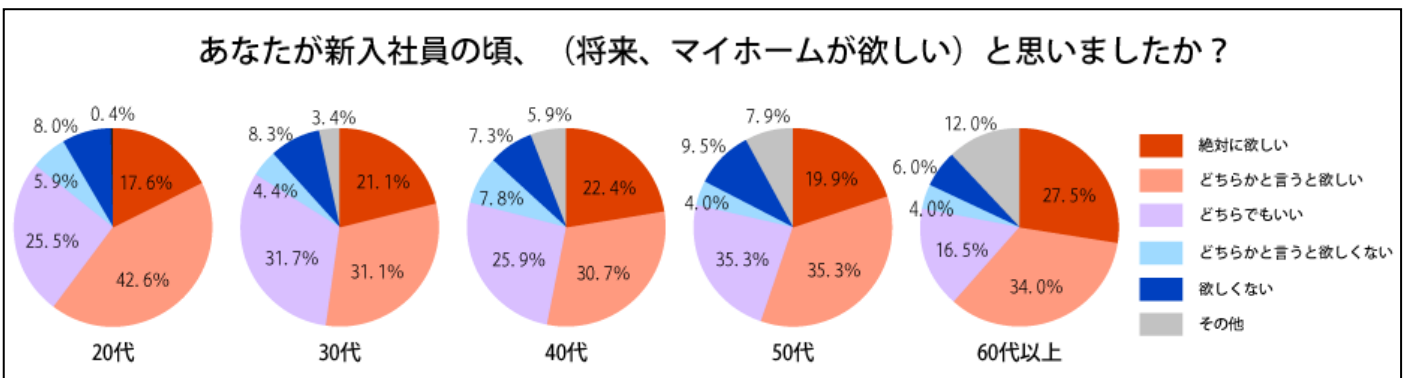
今回、オウチーノ総研（本社：東京都港区／代表：井端純一／不動産サイト「オウチーノ」「キャリアルーノ」を運営）は、20歳以上の男女974人を対象に、『あなたが新入社員の頃、（将来、マイホームが欲しい）と思いましたか？』というアンケートを行った。その結果、20代は60.2%の人が「欲しいと思った」と答えた（※1）。最近、住宅の取得に興味のない若者が急増していると言われていたが、本音では「欲しい」であり、20代～60代以上の全5世代の中で、20代のいわゆる「若者世代」が2番目に住宅取得に関心があることがわかった。「絶対に欲しい」など他の世代に比べて住宅取得に関する「渴望感」は少ないものの、イマドキの若者は、本音では、むしろマイホームを持つことを欲しているようなのである。

■調査概要

有効回答	日本在住の20歳以上の男女974名
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査期間	2012年5月21日（月）～2012年5月27日（日）の7日間

<詳しくはコチラ：<http://article.home-plaza.jp/article/trend/110/>>

1. 20代の60.2%が「マイホームが欲しい」と回答。



※一度も就職をしたことのない方は20歳の頃、まだ学生の方は今現在の考えを回答。

『あなたが新入社員の頃、（将来、マイホームが欲しい）と思いましたか？』という質問に対し、「絶対に欲しい」と答えた人の割合が最も多かったのが、60代以上で、27.5%。そして40代、30代、50代と続き、20代は17.6%と最も少なかった。しかし、全5世代の中で「絶対に欲しい」、「どちらかと言うと欲しい」と答えた人の合計を見ると、1位の60代以上（61.5%）に続いて多かったのが、20代で60.2%だった。「団塊の世代」を中核とする現在の60代の多くが社会に出始めたのは、1960～1970年代。当時は高度経済成期のまっただ中であり、

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■  
 オウチーノ総研 清水（株式会社ホームアドバイザー内）〒105-0012 東京都港区芝大門 2-9-16  
 <TEL: 03 (5402) 6887 FAX: 03 (5402) 3313 E-MAIL: hp-socket@homeadvisor.co.jp>

空前のマンションブームの時期に重なる。「マイホームの購入意欲」が高かったのも当然と言えば当然。一方、イマドキの若者は、「絶対に」という強い意志は見られないものの、本音では「マイホーム購入」を肯定的に捉えている人が多く、実際に言われているほど「マイホーム離れ」の心配はなさそうだ。

## 2. 世代間で異なる「マイホームが欲しい理由」。

次に、世代ごとに「マイホームが欲しいと思った理由」を見てみる。右の表の、各世代の1位の理由に注目してほしい。20代の1位は「オリジナルな家に住みたい」という理由。具体的には、「自分が設計に携わり、自分の住みやすいようにセレクトした住宅に住むことが夢だから」、「賃貸マンションや賃貸アパートは、リフォームが許可されているところが極めて少なく、いろいろビフォーアフターしたい自分にとっては、マイホームの方が人生を楽しめるから」などの意見が挙がった。

それに対し、40～60代は「自分の家(城)を持ちたい」という理由が1位。20代では「自分の家を持ちたい」という理由は5位にとどまっており、昔と比べて、「家を持つ」ことよりも、「どういった家に住むか」が重視されているようだ。

60代以上では、「持っているのが当然」が理由の2番目を占めた。他の世代では理由のトップ5にも入っておらず、この世代の特徴と言える。

企業に就職できたからと言って、定年まで勤められる保証も、給与が上がり続ける保証もない現代。たとえマイホームを購入しても、ローンが支払えなくなることも充分起こり得る。若者が自己防衛本能的に「自分の家を持つ」ことに執着しなくなるのもうなずける。

一方、現代の私たちは、インターネットの普及などにより、あらゆるものの選択肢が格段に拡がり、日々の生活を自分に合った形にカスタマイズできるようになった。住宅も同様で、ハウスメーカーによる大量生産の画一的な住宅ではなく、建築士やリフォーム会社、工務店などと共に、自らのライフスタイルに合った住宅を建てる若者も増えつつある。そうした若者のライフスタイル意識が、奥底で「マイホーム離れ」を食い止めているのかもしれない。

※1：アンケートの回答で「絶対に欲しい」、「どちらかと言うと欲しい」と答えた人の合計

<詳しくはコチラ：<http://article.home-plaza.jp/article/trend/110/>>

マイホームが欲しいと思った理由					
	20代	30代	40代	50代	60代以上
1位	オリジナルな家に住みたい	オリジナルな家に住みたい	自分の家を持ちたい	自分の家を持ちたい	自分の家を持ちたい
2位	落ち着ける場所が欲しい	自分の家を持ちたい	オリジナルな家に住みたい	オリジナルな家に住みたい	持っているのが当然
3位	自分の資産になる	夢 憧れ 目標	過去の経験から	金銭的	落ち着ける場所が欲しい
4位	夢 憧れ 目標	自分の資産になる	金銭的	自分の資産になる	過去の経験から
5位	自分の家を持ちたい	金銭的 安心して暮らせる	夢 憧れ 目標	夢 憧れ 目標 落ち着ける場所が欲しい	夢 憧れ 目標 金銭的